

広報 いずも

第106号 平成21年(2009)8月6日発行



出雲では太陽が8割程度欠けました



2000人が感動! 今年最大の天体ショー

科学館の屋外で多くの人が観察しました

国内では46年ぶりとなった皆既日食。

7月22日、出雲科学館には「日食を観察しよう」というイベントに、市内外からおおよそ2000人が訪れ、今年最大の天体ショーを楽しみました。

会場では、参加者が日食メガネで直接観察したり、出雲天文同好会の皆さんの協力により、太陽望遠鏡やソーラースコープなどで観察しました。欠け始めた太陽の姿に、会場からは大きな歓声が上がりました。

次に日本で皆既日食が見られるのは26年後になります。



太陽望遠鏡ではっきりと観察

目次

衆議院議員総選挙	2～3
ふるさと納税制度	4～5
地域学校運営理事会の取り組み	6～7
お知らせ	12～15